

平成30年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立大久保小学校		作成者	職名	教頭
電話番号	(0956) 22 - 4034			氏名	三代 直正
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4 月	実施テーマ	「情報セキュリティ対策の徹底」 「体罰禁止の徹底」			
<p>① 「教職員の綱紀の保持について」教育公務員としての自覚及び綱紀の粛正について確認する。</p> <p>② サービス規律強調月間の意義と実施テーマについて共通理解を行う。</p>					
<p><b>取組状況チェックリスト</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。</p> <p><b>取組の評価・改善点</b></p> <p>① 教職員としての自覚や責務について校長が講話を行い、サービス規律強化月間の意義・目的を改めて確認することができた。</p> <p>② サービス規律委員会年間計画について共通理解を図ることができた。</p> <p>③ 今年度の取組、4月のテーマについて、職員会議および連絡会で周知・徹底することができた。</p>					
7 月	実施テーマ	「交通事故防止」 「ハラスメント行為の防止」			
<p>① 交通事故防止に係る資料を用い、具体的事例による研修を実施する。</p> <p>② コンプライアンスハンドブック（県教委発行）をもとにハラスメント防止のポイントについて研修を行う。</p>					
<p><b>取組状況チェックリスト</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。</p> <p><b>取組の評価・改善点</b></p> <p>① 職員室だよりの発行や7月の取組テーマを職員室に掲示したことで意識化が図れた。</p> <p>② 連絡会及び職員会において、最近、多発している「前方不注意」による教職員の交通事故の例を挙げ、指導を行った。</p> <p>③ ハラスメント防止のため、「相手の人格を尊重」「職責の重さを認識」「相手の思いを判断」の3つのポイントを挙げ研修したことで、ハラスメントを「しない」「させない」という職員の意識を高めることができた。</p>					
12 月	実施テーマ	「公金等の不正処理の防止」 「飲酒運転の根絶」			
<p>① 各種会計簿の複数人による監査体制を徹底する。</p> <p>② 「飲酒運転の根絶」について、研修を行い職員の意識を高める。</p> <p>③ 飲酒を伴う会合は休日前実施を徹底し、全職員の帰宅方法等についても確認を行う。</p>					
<p><b>取組状況チェックリスト</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。</p> <p><b>取組の評価・改善点</b></p> <p>① 12月の取組テーマを職員室に掲示したことで、全職員で取り組む意識化が図れた。</p> <p>② 公金に関する諸帳簿の点検や口座引き出し時の確認を複数で行い、公金の適正処理を行うことができた。</p> <p>③ 新聞記事を活用し、飲酒運転の結果が本人や家族へおよぼす影響を考えたことで、飲酒運転根絶に向け、職員の意識を高めることができた。</p>					

<b>2 服務規律委員会</b>	
委員会名	服務規律委員会
構 成 員	所属内委員（5名 構成員：校長、教頭、教務主任、養護教諭、事務職員） 外部委員（3名 役職等：学校評議員）
活動内容 (主なもの)	① 校内における「服務規律」に関する協議・検討や諸問題への対策と提言 ② 日常の自己点検や職員相互の言葉かけを推進 ③ 学校の実情に応じた身近な取組を企画・運営
	<b>活動内容の評価・改善点</b> ① 服務規律委員会の活動方針を明確にして、教職員の認識と社会一般のずれがないように働きかけた。 ② 管理職をはじめとした委員は、日常的に職員に話しかけ、相談に乗り、関わることで、仕事上のストレス・家庭等の状況を把握し対応した。 ③ 強化月間の実施テーマについて、具体的な内容を提示したことで、職員の不祥事根絶に向けた意識が高まった。
<b>3 年間を通しての計画の達成状況</b>	
<b>年間を通しての取組状況チェックリスト</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。	
<b>年間を通しての取組の評価・改善点</b>	
<b>【評 価】</b> ○ 今年度、本校において服務規律を逸脱するような事案は「0」である。 ○ 4月、7月、12月と節目節目で取組を計画、実施したことにより、職員の服務規律に関する意識が高まった。 ○ 超過勤務縮減については、ICカード導入後、定時退庁を意識して職員同士で声を掛け合い実行するなど改善が見られた。	
<b>【改善点】</b> ○ 油断が一番怖い。定期的に振り返る場を今後も設定し、服務規律遵守に取り組む。 ○ 職場で語らう雰囲気さをさらに高め、職員が意見や考えを出せるようにしていく。	
<b>■ 管理職員による職員に対する指導状況</b>	
①指導年月日：平成30年4月3日（通知日：平成30年3月26日） 指導の内容 ・教職員の綱紀の保持について（29 教学第 1518 号）校長指導 ・服務規律強調月間の意義と実施テーマについて確認	
②指導年月日：平成30年4月27日（通知日：平成30年4月23日） 指導の内容 ・教職員の綱紀の保持（30 教義第 52 号）通知について読み上げ ・体罰、ハラスメント、飲酒運転等法令違反の根絶について再確認 ・職員同士の声かけの大切さと報告・連絡・相談の体制を再確認	
③指導年月日：平成30年8月9日（通知日：平成30年8月1日） 指導の内容 ・教職員の綱紀の保持（30 教義第 232 号）通知について読み上げ ・児童等の個人情報管理について再確認 ・成績資料、通知表等の管理について（処分と保管を確実にを行うこと）再確認	
④指導年月日：平成30年10月18日（通知日：平成30年10月12日） 指導の内容 ・教職員の綱紀の保持（30 教義第 347 号）通知について読み上げ ・コンプライアンスハンドブックの資料をもとにセルフチェックを実施 ・懲戒の種類と子どもたちを教導く我々の使命を再確認	
⑤指導年月日：平成30年12月20日（通知日：平成30年12月6日） 指導の内容 ・年末年始における綱紀粛正の徹底について（通達）読み上げ ・家庭、地域からの信頼を失墜させることがないように、危機感をもって行動すること ・飲酒の機会が多くなる時こそ、公務員としての自覚をもって行動すること	